

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公開番号】特開2006-74476(P2006-74476A)

【公開日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-011

【出願番号】特願2004-255813(P2004-255813)

【国際特許分類】

H 04 N 5/93 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/93 Z

H 04 N 5/225 F

H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月27日(2007.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録媒体に記録された画像情報を再生する再生手段と、前記記録媒体に記録された複数の画像情報を指定された順番で自動再生するよう前記再生手段を制御する制御手段と、前記画像情報の状態を判別する判別手段と、前記判別手段の判別結果に応じて前記再生手段による各画像情報の再生時間長を設定する設定手段とを備えることを特徴とする画像再生装置。

【請求項2】

前記判別手段は、前記画像情報の撮影画角を判別する撮影画角判別手段を有し、前記設定手段は、前記判別された撮影画角に応じて前記再生手段による各画像情報の再生時間長を設定することを特徴とする請求項1に記載の画像再生装置。

【請求項3】

前記判別手段は、前記画像情報の画面像解像度を判別する解像度判別手段を有し、前記設定手段は、前記判別された画面解像度に応じて前記再生手段による各画像情報の再生時間長を設定することを特徴とする請求項1に記載の画像再生装置。

【請求項4】

前記判別手段は、前記画像情報の撮影日時を判別する撮影日時判別手段を有し、前記設定手段は、前記判別された撮影日時に応じて前記再生手段による各画像情報の再生時間長を設定することを特徴とする請求項1に記載の画像再生装置。

【請求項5】

前記判別手段は、前記画像情報の輝度分布状態を判別する輝度分布判別手段を有し、前記設定手段は、前記判別された輝度分布の状態に応じて前記再生手段による各画像情報の再生時間長を設定することを特徴とする請求項1に記載の画像再生装置。

【請求項6】

前記判別手段は、前記画像情報の情報量を判別する画像情報量判別手段を有し、前記設定手段は、前記判別された情報量に応じて前記再生手段による各画像情報の再生時間長を

設定することを特徴とする請求項1に記載の画像再生装置。

【請求項7】

記録媒体に記録された画像情報を再生する再生手段と、前記記録媒体に記録されている複数の画像情報より前記再生手段により再生すべき任意の画像情報を選択する選択手段と、前記選択された画像情報の状態を判別する判別手段と、前記判別手段の判別結果に応じて前記選択された画像情報の再生手順を設定する設定手段とを備えることを特徴とする画像再生装置。

【請求項8】

前記画像情報は、連続した複数のフレームから成る動画像情報を含み、前記判別手段は、前記選択された動画像情報の記録時間長を判別する記録時間長判別手段を有し、前記設定手段は、前記記録時間長判別手段により判別された記録時間長に応じて前記選択された動画像情報の再生回数を設定することを特徴とする請求項7に記載の画像再生装置。

【請求項9】

前記画像情報は、連続した複数のフレームから成る動画像情報を含み、前記判別手段は、前記選択された動画像情報の画面解像度を判別する解像度判別手段を有し、前記設定手段は、前記解像度判別手段により判別された画面解像度に応じて前記選択された動画像情報の再生回数を設定することを特徴とする請求項7に記載の画像再生装置。

【請求項10】

記録媒体に記録された画像情報を再生する再生ステップと、前記記録媒体に記録された複数の画像情報を指定された順番で自動再生するよう前記再生手段を制御する制御ステップと、前記画像情報の状態を判別する判別ステップと、前記判別ステップの判別結果に応じて前記再生ステップによる各画像情報の再生時間長を設定する設定ステップとを備えることを特徴とする画像再生方法。

【請求項11】

前記判別ステップは、前記画像情報の撮影画角を判別する撮影画角判別ステップを有し、前記設定ステップは、前記判別された撮影画角に応じて前記再生ステップにおける各画像情報の再生時間長を設定することを特徴とする請求項10に記載の画像再生方法。

【請求項12】

前記判別ステップは、前記画像情報の画面像解像度を判別する解像度判別ステップを有し、前記設定ステップは、前記判別された画面解像度に応じて前記再生ステップにおける各画像情報の再生時間長を設定することを特徴とする請求項10に記載の画像再生方法。

【請求項13】

前記判別ステップは、前記画像情報の撮影日時を判別する撮影日時判別ステップを有し、前記設定ステップは、前記判別された撮影日時に応じて前記再生ステップにおける各画像情報の再生時間長を設定することを特徴とする請求項10に記載の画像再生方法。

【請求項14】

前記判別ステップは、前記画像情報の情報量を判別する画像情報量判別ステップを有し、前記設定ステップは、前記判別された情報量に応じて前記再生ステップにおける各画像情報の再生時間長を設定することを特徴とする請求項10に記載の画像再生方法。

【請求項15】

記録媒体に記録された画像情報を再生する再生ステップと、前記記録媒体に記録されている複数の画像情報より前記再生ステップにより再生すべき任意の画像情報を選択する選択ステップと、前記選択された画像情報の状態を判別する判別ステップと、前記判別ステップの判別結果に応じて前記選択された画像情報の再生手順を設定する設定ステップとを備えることを特徴とする画像再生方法。

【請求項16】

前記画像情報は、連続した複数のフレームから成る動画像情報を含み、前記判別ステップは、前記選択された動画像情報の記録時間長を判別する記録時間長判別ステップを有し、前記設定ステップは、前記記録時間長判別ステップで判別された記録時間長に応じて前記選択された動画像情報の再生回数を設定することを特徴とする請求項15に記載の画像

再生方法。

【請求項 1 7】

前記画像情報は、連続した複数のフレームから成る動画像情報を含み、前記判別ステップは、前記選択された動画像情報の画面解像度を判別する解像度判別ステップを有し、前記設定ステップは、前記解像度判別ステップで判別された画面解像度に応じて前記選択された動画像情報の再生回数を設定することを特徴とする請求項1 5に記載の画像再生方法。

【請求項 1 8】

前記画像情報は、連続した複数のフレームから成る動画像情報を含み、前記判別ステップは、前記選択された画像情報の撮影日時を判別する撮影日時判別ステップを有し、前記設定ステップは、前記撮影日時判別ステップにより判別された撮影日時に応じて前記選択された動画像情報の再生回数を設定することを特徴とする請求項1 5に記載の画像再生方法。

【請求項 1 9】

記録媒体に記録された画像情報を再生する再生モジュールと、前記記録媒体に記録された複数の画像情報を指定された順番で自動再生するよう前記再生手段を制御する制御モジュールと、前記画像情報の状態を判別する判別モジュールと、前記判別モジュールの判別結果に応じて前記再生モジュールによる各画像情報の再生時間長を設定する設定モジュールとをコンピュータに実行させることを特徴とする画像再生プログラム。

【請求項 2 0】

記録媒体に記録された画像情報を再生する再生モジュールと、前記記録媒体に記録されている複数の画像情報より前記再生モジュールにより再生すべき任意の画像情報を選択する選択モジュールと、前記選択された画像情報の状態を判別する判別モジュールと、前記判別モジュールの判別結果に応じて前記選択された画像情報の再生手順を設定する設定モジュールとをコンピュータに実行させることを特徴とする画像再生プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像再生装置及び方法、並びにプログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、画像再生装置及び方法、並びにプログラムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明の目的は、画像再生時において、再生画像を見易くすることができる画像再生装置及び方法、並びにプログラムを提供することにある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【0008】**

上記目的を達成するために、請求項1記載の画像再生装置は、記録媒体に記録された画像情報を再生する再生手段と、前記記録媒体に記録された複数の画像情報を指定された順番で自動再生するよう前記再生手段を制御する制御手段と、前記画像情報の状態を判別する判別手段と、前記判別手段の判別結果に応じて前記再生手段による各画像情報の再生時間長を設定する設定手段とを備えることを特徴とする。

**【手続補正6】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【0009】**

請求項2記載の画像再生装置は、請求項1記載の画像再生装置において、前記判別手段は、前記画像情報の撮影画角を判別する撮影画角判別手段を有し、前記設定手段は、前記判別された撮影画角に応じて前記再生手段による各画像情報の再生時間長を設定することを特徴とする。

**【手続補正7】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【0010】**

請求項3記載の画像再生装置は、請求項1記載の画像再生装置において、前記判別手段は、前記画像情報の画面像解像度を判別する解像度判別手段を有し、前記設定手段は、前記判別された画面解像度に応じて前記再生手段による各画像情報の再生時間長を設定することを特徴とする。

**【手続補正8】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【0011】**

請求項4記載の画像再生装置は、請求項1記載の画像再生装置において、前記判別手段は、前記画像情報の撮影日時を判別する撮影日時判別手段を有し、前記設定手段は、前記判別された撮影日時に応じて前記再生手段による各画像情報の再生時間長を設定することを特徴とする。

**【手続補正9】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【0012】**

請求項5記載の画像再生装置は、請求項1記載の画像再生装置において、前記判別手段は、前記画像情報の輝度分布状態を判別する輝度分布判別手段を有し、前記設定手段は、前記判別された輝度分布の状態に応じて前記再生手段による各画像情報の再生時間長を設定することを特徴とする。

**【手続補正10】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項6記載の画像再生装置は、請求項1記載の画像再生装置において、前記判別手段は、前記画像情報の情報量を判別する画像情報量判別手段を有し、前記設定手段は、前記判別された情報量に応じて前記前記再生手段による各画像情報の再生時間長を設定することを特徴とする。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記目的を達成するために、請求項7記載の画像再生装置は、記録媒体に記録された画像情報を再生する再生手段と、前記記録媒体に記録されている複数の画像情報より前記再生手段により再生すべき任意の画像情報を選択する選択手段と、前記選択された画像情報の状態を判別する判別手段と、前記判別手段の判別結果に応じて前記選択された画像情報の再生手順を設定する設定手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項8記載の画像再生装置は、請求項7記載の画像再生装置において、前記画像情報は、連続した複数のフレームから成る動画像情報を含み、前記判別手段は、前記選択された動画像情報の記録時間長を判別する記録時間長判別手段を有し、前記設定手段は、前記記録時間長判別手段により判別された記録時間長に応じて前記選択された動画像情報の再生回数を設定することを特徴とする。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項9記載の画像再生装置は、請求項7記載の画像再生装置において、前記画像情報は、連続した複数のフレームから成る動画像情報を含み、前記判別手段は、前記選択された動画像情報の画面解像度を判別する解像度判別手段を有し、前記設定手段は、前記解像度判別手段により判別された画面解像度に応じて前記選択された動画像情報の再生回数を設定することを特徴とする。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

上記目的を達成するために、請求項10記載の画像再生方法は、記録媒体に記録された画像情報を再生する再生ステップと、前記記録媒体に記録された複数の画像情報を指定された順番で自動再生するよう前記再生手段を制御する制御ステップと、前記画像情報の状態を判別する判別ステップと、前記判別ステップの判別結果に応じて前記再生ステップに

よる各画像情報の再生時間長を設定する設定ステップとを備えることを特徴とする。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項11記載の画像再生方法は、請求項10記載の画像再生方法において、前記判別ステップは、前記画像情報の撮影画角を判別する撮影画角判別ステップを有し、前記設定ステップは、前記判別された撮影画角に応じて前記再生ステップにおける各画像情報の再生時間長を設定することを特徴とする。

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

請求項12記載の画像再生方法は、請求項10記載の画像再生方法において、前記判別ステップは、前記画像情報の画面像解像度を判別する解像度判別ステップを有し、前記設定ステップは、前記判別された画面解像度に応じて前記再生ステップにおける各画像情報の再生時間長を設定することを特徴とする。

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

請求項13記載の画像再生方法は、請求項10記載の画像再生方法において、前記判別ステップは、前記画像情報の撮影日時を判別する撮影日時判別ステップを有し、前記設定ステップは、前記判別された撮影日時に応じて前記再生ステップにおける各画像情報の再生時間長を設定することを特徴とする。

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

請求項14記載の画像再生方法は、請求項10記載の画像再生方法において、前記判別ステップは、前記画像情報の情報量を判別する画像情報量判別ステップを有し、前記設定ステップは、前記判別された情報量に応じて前記再生ステップにおける各画像情報の再生時間長を設定することを特徴とする。

【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

上記目的を達成するために、請求項15記載の画像再生方法は、記録媒体に記録された画像情報を再生する再生ステップと、前記記録媒体に記録されている複数の画像情報より前記再生ステップにより再生すべき任意の画像情報を選択する選択ステップと、前記選択

された画像情報の状態を判別する判別ステップと、前記判別ステップの判別結果に応じて前記選択された画像情報の再生手順を設定する設定ステップとを備えることを特徴とする。

【手続補正20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

請求項16記載の画像再生方法は、請求項15記載の画像再生方法において、前記画像情報は、連続した複数のフレームから成る動画像情報を含み、前記判別ステップは、前記選択された動画像情報の記録時間長を判別する記録時間長判別ステップを有し、前記設定ステップは、前記記録時間長判別ステップで判別された記録時間長に応じて前記選択された動画像情報の再生回数を設定することを特徴とする。

【手続補正21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

請求項17記載の画像再生方法は、請求項15記載の画像再生方法において、前記画像情報は、連続した複数のフレームから成る動画像情報を含み、前記判別ステップは、前記選択された動画像情報の画面解像度を判別する解像度判別ステップを有し、前記設定ステップは、前記解像度判別ステップで判別された画面解像度に応じて前記選択された動画像情報の再生回数を設定することを特徴とする。

【手続補正22】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

請求項18記載の画像再生方法は、請求項15記載の画像再生方法において、前記画像情報は、連続した複数のフレームから成る動画像情報を含み、前記判別ステップは、前記選択された画像情報の撮影日時を判別する撮影日時判別ステップを有し、前記設定ステップは、前記撮影日時判別ステップにより判別された撮影日時に応じて前記選択された動画像情報の再生回数を設定することを特徴とする。

【手続補正23】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

上記目的を達成するために、請求項19記載の画像再生プログラムは、記録媒体に記録された画像情報を再生する再生モジュールと、前記記録媒体に記録された複数の画像情報を指定された順番で自動再生するよう前記再生手段を制御する制御モジュールと、前記画像情報の状態を判別する判別モジュールと、前記判別モジュールの判別結果に応じて前記再生モジュールによる各画像情報の再生時間長を設定する設定モジュールとをコンピュータに実行させることを特徴とする。

【手続補正24】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 7 】

上記目的を達成するために、請求項20記載の画像再生プログラムは、記録媒体に記録された画像情報を再生する再生モジュールと、前記記録媒体に記録されている複数の画像情報より前記再生モジュールにより再生すべき任意の画像情報を選択する選択モジュールと、前記選択された画像情報の状態を判別する判別モジュールと、前記判別モジュールの判別結果に応じて前記選択された画像情報の再生手順を設定する設定モジュールとをコンピュータに実行させることを特徴とする。